

# TOKIWA

2022  
.....  
AUTUMN  
.....  
vol.209

INTERVIEW

ITの力で実現する安全・安心



今回の広報誌「TOKIWA」秋号では、株式会社ユータイズ代表取締役の末吉広忠様にインタビューしました。ときわ園は、ホームページやBOSS等の分野でユータイズ様にお世話になっています。

### 一 最初に、株式会社ユータイズの業務内容をお知らせいただけますか？

弊社の業務は2本の柱で成り立っています。1本目の柱はIT系の技術をお客様に提供するシステム開発という分野です。お客様の様々な業務をサポートする業務管理のシステムを構築し、運用のお手伝いをしています。また、ときわ園様でも利用していただいている防災関係のシステムについても、多くの自治体にサービスとして提供させていただいております。

もう1本の柱は医療系のコンサルティングです。主に自治体に向けて健康相談のサービスを提供させていただいております。住民の皆様の健康を守るため、健診勧奨や重症化を予防するための健康相談などに、管理栄養士や看護師のメンバーと共に取り組んでいます。

### 一 最近力を入れているのはどのような分野でしょうか？

ITの分野では先述の防災関係のシステムに力を入れています。BOSS（災害対応工程管理システム）というシステムを開発し、運営しておりますが、利用していただく自治体もかなり増えてきています。BOSSをもっと良いものにしていけるよう日々努力しています。また、BOSSの関係で、防災分野でシステムのご相談を受ける機会も多くなってきております。

さらに、医療系では、生活保護を受



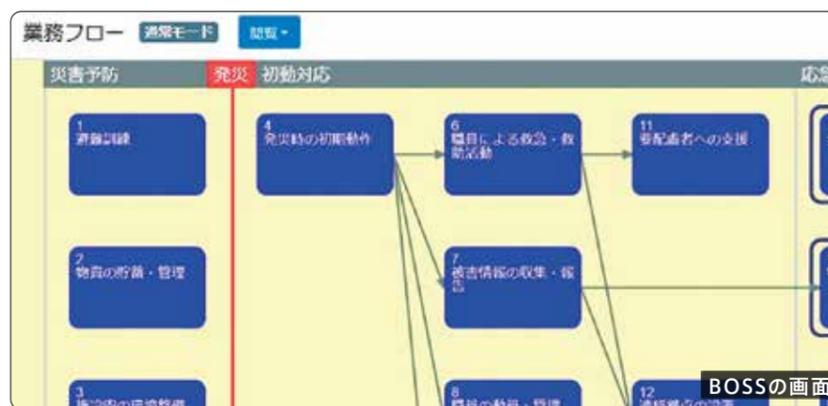
業務中の末吉氏

けている方たちの健康相談に取り組んでいます。厚生労働省が2021年1月から「被保護者健康管理支援事業」という取り組みを始めております。自治体の取り組み方は様々ですが、メンバーに有資格者がいる弊社としても、そのような取り組みを積極的にサポートできたらと思い、様々な提案をさせていただいております。

### 一 BOSSについて詳しく教えてください。

BOSSとは、「災害対応工程管理システム」の略称です。BOSSの原型は東京大学生産技術研究所の沼田宗純准教授が、災害が発生した際の対応について畳1畳分くらいの模造紙にフローチャートで表現したものです。その大きな紙を災害が発生した自治体に持参し、災害対応のサポートをしておられました。

毎回、紙を持参するのでは、手間も大変ですし、紙もだんだん劣化していきます。それでITの力で何とかできないか、というご相談をいただき、フローチャートを描き、表示するBOSSというシステムの開発が始まりました。そのような経緯がありますので、BOSSはフローチャートを簡単に表現できるシステムということになります。



株式会社ユータイズ 代表取締役 末吉広忠様

現在、全国で50近くの自治体でご利用いただいております。

### 一 ときわ園の魅力をお聞かせください。

初めて伺ったときは、その自然環境の豊かさにとても驚きました。こんな自然の豊かなところで穏やかな老後が送れるとしたら、素晴らしいと感じました。

その後、災害発生を想定した訓練などに参加させていただき、自然が豊かだけでなく、スタッフの皆様への対応にも感銘を受けました。災害を想定するストレスがかかる状況の中でも、笑顔を絶やさずに、かつ的確に年配の皆様を誘導しておられました。普段はもちろんのこと、いざという時にもとても頼りになるスタッフだな、と感じました。

末吉様、この度はインタビューに応じてくださりありがとうございました。

## 鉄道がつくる思い出

理事長  
三枝 弘朋



明治5年(1872年)10月14日に、新橋～横浜間で日本初の鉄道が開業し今年で150年になります。鉄道は150年の間に大きな進歩を遂げました。鉄道の歴史上筆頭に挙げられるのが1964年の東海道新幹線開業です。当時の営業最高速度は210kmで、夢の超特急と呼ばれました。現在の営業最高速度は東北新幹線の320kmです。9月23日には西九州新幹線長崎ルートが開業し、更に北海道新幹線と北陸新幹線の延伸工事が行われています。日本の鉄道は格段にスピードアップし、目的地に早く安全に快適に着くことができ、日本が益々狭くなったように感じます。更に、鉄道史上大きな転換点となったのは昭和62年(1987年)に国鉄がJRになったことです。これ以降サービスの質が向上し、駅のトイレや駅舎がきれいになり、

気持ちよく利用できるようになりました。JR化後の鉄道の進歩は目覚ましいものがあると感じます。

個人的には、どこに行くにも長い時間がかかった昔の鉄道の旅は、快適ではなかったですが、のんびりして、遠くまで来たという達成感のようなものがあって良かったと感じています。東京駅や上野駅で日本全国の様々な行き先を見てわくわくしたものです。しかし、どんなことでも「昔の方が今よりも良かった」と考え過ぎてしまうと、今の良いものが見えなくなり、後ろ向きの気持ちになってしまうので、「古き良き時代」という考え方にもバランスが必要だと思います。

それでも、なつかしい物や写真、映像を見て思い出を語り合

うことは精神面で良い影響があると言われております。脳を活性化し情緒を安定させ、長く続けることで認知症の進行予防やうつ状態の改善につながるという研究結果もあります。回想法と呼ばれ治療目的で行われることもあります。皆さんは鉄道に関連して印象に残っていることや良い思い出がありますか？150年の節目の年にちなんで、時には昔の思い出話をしてみるのはいかがでしょうか。



外房線 旧型車両さよなら運転

## 業務改善で入浴の喜び

本館1階介護職員  
徳田 聡史



「気持ちいいー」と感嘆の声が上がります。私はその声に介助者としての喜びを感じました。普段から快の反応の少ないご利用者の声だったからでもあります。

施設高齢者がお風呂に入るのは簡単ではありません。身体が動かないからではなく、その日その日で体調の変化が起こりやすく調子の悪い日は入浴ができません。だからこそ、この一回の入浴が最高の喜びになります。

今年の2月から半年をかけ入浴介助方法の見直しと改善を行いました。誰が介助をしても同様に安全安心で、計画的であり、心地よい入浴

を目標としました。バイタルチェックや入浴中の見守りを強化し、週2回の入浴日を月木・火金・水と均等にしました。今まで自分の入浴日を把握できていなかったご利用者から、「私のお風呂は水土ね」と聞かれるようになり入浴を拒否されることが減りました。

三大介護といわれる『食事・排泄・入浴』は介助を要さない人々にとっ

てはごく当たり前の行動ですが、文頭の「気持ちいいー」との言葉を聞いて、入浴の価値を大きく感じることができました。



湯を張った機械浴槽

# デイサービスの活動

感染症対策で外出が難しい昨今…。皆様に少しでも楽しみをもって生活を送って頂くために様々なイベントをご用意しております。

お祭りや工作、園庭の散歩、皆さんで育てた農作物の収穫や花壇のお手入れ等々…。機能訓練も楽しみながら目標達成に向けて奮闘していただいております。私たちと一緒に楽しみのある生活を送りましょう！



## 手作り「持ち上げない介護」を実践

作業療法士  
石田 琢哉



持ち上げない介護とは、ノーリフティングケアとも言われ、原則として人力のみによる持ち上げ・抱き上げをしないケアのことです。平成25年より腰痛予防対策として、厚生労働省が推進していますが、全国的にはまだ普及途上にあります。

ときわ園では平成30年から腰痛予防対策と併せ、リハビリ委員会を中心として持ち上げない介護に取り組んでいますが、持ち上げる動作をより減らすべく、スライディングボードを作成してみました。

スライディングボードとは、身体を横に滑るように移乗できる道具です。安全

性をも考えての手作り品は、少し不恰好ではありますが、個々のご利用者の体型に合わせることができ、コストも大幅に抑えられるメリットがあります。この他に、既製品のものや床走行リフト、多機能型車椅子などを用意しています。

持ち上げない介護の実施は、介護者



の腰痛予防だけでなく、ご利用者の安全・安心・安楽（負担の軽減）、そして密接の回避にもつながります。

ケアのプロとして、腰痛のリスクを背負いながら働くことや、ご利用者に負担をかけることを仕方のないこととせず、その予防と対策を進めていきたいと思っております。



## 「ときわ園への就職を考えています」 ～オンライン就職説明会に参加して～

介護職長  
井上 宏樹



特別養護老人ホームときわ園では、7月27日（水）、来春卒業の学生さんを対象にオンライン就職説明会を実施しました。城西国際大学や淑徳大学の4年生の学生さんが参加しました。一人はときわ園ですでに実習をしています。もう一人はこのオンライン就職説明会の際に見学を希望し、8月4日に来園しました。コロナ対策のため施設全体の見学はできませんでしたが、タブレットでズームを使用し施設の中を見てもらい、後日、「ときわ園への就職を考えていま

す」とお返事をいただきました。2人とも面接しときわ園での就職が内定しています。

特別養護老人ホームときわ園では、今後もオンライン就職説明会を計画していきます。ときわ園では来春の新卒者（大学生、専門学校生、高校生など）採用の枠を拡大しており、大勢の方々がときわ園への就職を希望することを期待しています。スキルや資格も大切ですが、一番重要視しているのは人間性です。来春の新卒者だけでなく、中途採用者を

含めご興味ある方はだれでも参加できます。随時予定に合わせて開催できますので、ぜひ奮ってご参加ください。お待ちしております！



## デイサービスこもれびに勤務して 14年の月日が経ち…

私がデイサービスセンターこもれびの機能訓練の仕事に就かせていただいてから、もうすぐ10年になります。一番下の娘が赤ちゃんだったのが、今では、小学4年生になりました。また機能訓練の仕事に就く前には入浴介助のパート業務をさせて頂いていたので、すべてを合わせると14年の月日が流れました。

入社した頃の頃、業務に少しずつ慣れてきたある日、上司から「こもれびはいかがですか。どのように感じていますか。」と何気ない質問がありました。私は「病院と違って（今迄は病院勤務しか経験がありませんでした）ときわ園という施設は、すごくアットホームで温かい場所だなと感じています。また職員もご利用者も笑顔があふれていて、穏やかで素敵な時間の流れを感じています。職員の真心のこもった接し方がすごく印象的で、私も見習いたいです。」と返答しました。すると上司が「そうですか。それは嬉しいです。こもれびが、利用者様の日常の一助となれるような、そんな場所でありたいと思っています。お風呂もそうですが、デイフロアの大きな窓前面を見てください。緑豊かで四季折々が楽しめるのですよ。天気の良い日には皆さんでテラスに出てお茶を楽しみ、午後



屋内の個別訓練風景

にはレクリエーションや工作を楽しんで頂いています。そのほかにも、年間を通して行事ごとなんかもね。書道をしたりもするのですよ。毎回、利用者様が快適に過ごして頂けるようにしていきたいですね…。」と、言葉をかけてくれたことを思い出しました。その時、ワクワクするような感動を覚え、年間を通してご利用者が楽しく健やかに過ごされている意味に納得できました。14年たった現在も当時の言葉通りにご利用者のことを第一に考え、より良いサポートと快適な環境作りに努めていることを実感しています。

機能訓練業務においては、広い園庭を利用して、日常会話を楽しみながらの歩行訓練や屋内でのリハビリ機器を使用した運動など、個々の身体状況や目標に合わせたプログラムで実施しています。

先日、A様の機能訓練中の出来

デイサービスセンター  
こもれび 機能訓練士  
高木 理恵子



事。既往歴のあるA様は自発的な発言が少ないのですが、問いかけにはしっかり意思表示をして下さる方です。毎回の機能訓練後に「今日の機能訓練はどうでしたか。楽しかったですか。」と問いかけるようにしています。A様は「楽しかった。」や「まあまあ。」などと気持ちを教えて下さいます。私はその言葉を、楽しさを含めA様にとっての満足度として捉えています。その日は、今までできていた訓練内容から一段階レベルを上げて実施してみました。説明をしながら拒否なく実施することができましたが、実施後「楽しかったですか?」と質問すると「……。」無言でした。「楽しくなかったですか?」と再び問いかけると、首をゆっくり動かし、うなずかれています。私は続けて「ごめんなさい。以前から行っていた訓練内容の方がよかったですね。」と尋ねると「うん。」と返答がありました。今回の事でA様は私に機能向上だけでなく、現在の機能維持を大切にしているということを感じさせてくれました。

これからも、ご利用者の気持ちに寄り添い、本当のニーズをキャッチできる職員に慣れるよう一層努力を重ねていきたいと考えています。



緑豊かな園庭の散歩



リハビリ機器越しに広がる青空

## ベトナム旅行記



2人のEPAベトナム人職員が久しぶりに一時帰国しました。その際のコメントです。



新館2階介護職員  
レーティゴックトゥアン

ベトナムで、最初にびっくりしたのは値段です。ミルクティータピオカは、味は昔と一緒なのに値段が上がっていました。3年の間に色々と変わっていて、建物や店が沢山できていて賑やかになっていました。本当に私の故郷なの?とってしまいました。故郷は、暑くても海があります。ストレスを解消するために友達と故郷の有名どころへ行きました。おかげで、日本で仕事をまた頑張ろうと思うやる気を充電しました。



ミーケービーチ



ダナン市内を横切るハン川



新館3階介護職員  
レーティホアイフォン

3年ぶりに家族に会えました。久しぶりに家族皆の元気な顔を見ることができたのでとても嬉しかったです。3年間会えてなかった姪っ子は、あつという間に大きくなっていました。家族がちょうど夏休みだったので、一緒に旅行やパーティーをしたり、友達と買い物やご飯を食べたりしてとても楽しかったです。久しぶりベトナム料理を沢山食べたので満足しました。

## 職員に期待する「人物像」

施設長  
酒井 章年



昨年度JAXAは13年ぶりに宇宙飛行士を募集しました。応募者は過去最多の4127人。近々新しい宇宙飛行士が選抜されることでしょう。ところで、JAXAは宇宙飛行士に「求める人物像」として、次の3つを示しています。

- ①多様性を尊重しつつ、協調性とリーダーシップを発揮できる
- ②極限環境でも的確な判断と行動ができる
- ③世界中の人々と共有する表現力と発信力がある

ときわ園職員は宇宙飛行士になるわけではありませんが、上記の「人物像」に近づくことは大変意義があることだと思います。近年日本人以外の職員も増

え多様性を尊重することはますます重要になり、「和と協力」はときわ園の心得の一つです。また、災害が生じたりコロナ感染症が広まったりする中で冷静沈着な対応が今まで以上に求められて

います。さらに、ときわ園で行われている非常に素晴らしい取り組みを外部に発信することはときわ園の評価にもつながります。こうした資質をさらに磨いていくことを職員には期待しています。



国際宇宙ステーション滞在中の多国籍の宇宙飛行士たち

# 活動ログ

5/30

コンポストでエコ活動

ときわ園では、コンポストを使用してエコ活動に取り組んでいます。しばらく前からコンポストを導入していましたが、最近個数を増やし充実させました。厨房から発生する生ごみをコンポストに保存しておく、みごと堆肥が出来上がり、自然環境に恵まれている敷地には花壇や菜園がありますので大助かりです。このような取り組みにより、ごみ

の量を減らし、ごみの処分費用を減らせます。特に、物価高騰が続く中で、コンポストは大助かり。小さな取り組みですが、循環型社会の実現に一役立てればと願っています。



お手伝いいただいたボランティアの長澤様と高橋様

6/24

城西国際大学で講義を行いました。テーマは「多職種連携」

城西国際大学に伺い、介護福祉士養成課程「生活支援技術Ⅴ」の授業において講義を行いました。テーマは「多職種連携」。「多職種で会議をしたら？それぞれの座席が良いか？」という問題を出し、学生さんと一緒に考えました。学生さんは一生懸命考え答えを出し、解答を聞くと「へー」という言葉が出、興味深く話を聞いておられました。「多職種連携」のポイントは次

の2つ、①自分の役割(立場)を考える事、②相手の役割(立場)を考える事です。そして、最も大切だとお伝えしたのは、「何故その会議を行っているのか」「【目的】は何か」という点です。



講義をする井上介護職長

8/4

十分理解できる言語で支援中

特別養護老人ホームときわ園では、外国人特定技能実習生を雇用し、介護サービスの質の向上に取り組んでいます。その勤勉な働きと明るい性格によりご利用者や日本人職員から高い評価を受けています。特定技能実習生の受け入れ機関に求められていることの一つは、外国人が十分理解できる言語で支援を実施できる体制

を確保していなければならないことです。そこで、ときわ園では、ベトナム語でのサポートを提供できるようにし、長年ベトナムで日本語教育に携わってこられた菊池ご夫妻と提携し支援を実施しています。



通訳者と会話する特定技能実習生

## 編集後記

7月から8月にかけて2人のEPAベトナム人職員が久しぶりに一時帰国しました。そのときの内容を今回の記事の一つにしてみました。表紙の写真もベトナムの光景です。日本人にとっては異文化の雰囲気を感じる写真かもしれませんが、しかし、今後ますますときわ園は国際色豊かになっていくと思われます。様々な背景からやってきた職員が一つになって、よりよい介護サービスを提供してまいります。

